

平成 28 年度

交野市財政健全化審査意見書

交野市監査委員

交 監 第 6 3 号

平成29年 8 月18日

(写)

交 野 市 長

黒 田 実 様

交野市監査委員 小 串 弘 明

同 前 波 艶 子

平成28年度交野市財政健全化審査意見書の提出について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定に基づき、審査に付された平成28年度交野市健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を審査した結果、次のとおり意見書を提出する。

## 平成28年度交野市財政健全化審査意見書

### 1. 審査の対象

平成28年度実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率

### 2. 審査の概要

交野市長から提出された平成28年度健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

### 3. 審査の期間

平成29年7月25日から平成29年8月16日まで

### 4. 審査の結果

#### (1) 総合意見

審査に付された下記、平成28年度交野市健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

### 記

健全化判断比率	平成28年度 (%)	平成27年度 (%)	早期健全化基準 (%)
① 実質赤字比率	-	-	12.82
② 連結実質赤字比率	-	-	17.82
③ 実質公債費比率	13.1	13.0	25.0
④ 将来負担比率	142.3	169.9	350.0

## (2) 個別意見

### ① 実質赤字比率について

実質収支が黒字であるため、実質赤字比率はなく、早期健全化基準の12.82%と比較すると下回っていると認められる。

### ② 連結実質赤字比率について

連結実質収支が黒字であるため、連結実質赤字比率はなく、早期健全化基準の17.82%と比較すると下回っていると認められる。

### ③ 実質公債費比率について

実質公債費比率は13.1%となっており、昨年度と比較すると、0.1ポイント悪化している。

また、早期健全化基準の25.0%と比較するとこれを下回っていると認められる。

### ④ 将来負担比率について

将来の財政運営の硬直化につながる将来負担比率は、平成28年度は、142.3%となっており、平成27年度の169.9%と比較すると27.6ポイント改善している。

早期健全化基準の350.0%との比較でもこれを下まわってはいるものの、依然として他市と比べると高い数値となっており、今後、新ごみ処理場に係る一部事務組合に対する負担金のさらなる増加や、社会保障に係る費用のさらなる増加、施設の老朽化対策に係る費用の増加等が見込まれることから、比率上昇の抑制、改善により一層努められたい。

## (3) 是正改善を要する事項

今回の審査では、本市の健全化判断比率は、法令の定める早期健全化基準を下回り、引き続き減少しており、その限りでは「良好な」状態にあるといえるが、いまだ将来負担比率は高い数値であり、また、前述の事業実施等により将来における負債の増加が見込まれ、土地開発公社の健全化についても、さらなる推進の必要があるため、今後も極力、収支が均衡した財政運営の中で、引き続き健全な財政基盤の確立に取り組まれることを望むものである。